

# 平成13年度第2回岐阜県事業評価監視委員会議事概要書

平成13年7月19日(木)

13:15~16:30

県会議事堂東棟 3階執行部控室

開会の挨拶 (横山理事兼経営管理部長)

## 議 事

### 1 議事概要書署名委員の指名

・委員長より、川島委員、熊澤委員、小寺委員を署名委員として指名。

### 2 再評価実施箇所(道路建設課、河川課、砂防課所管分)の概要説明及び質疑

・説明者 鈴木工事検査課長

#### 河川-1

Q)費用対効果の欄に○と記載されているが、昨年度と同じか。

A)同じです。

Q)採択時と現時点における資産の伸びと全体事業費の伸びを比較し判断してあるようだが、この方法ではずっと○のままになってしまうのではないか、定義はどうなっているのか。

A)後日の詳細説明の際に事業課より回答をさせていただきます。

Q)事業の進捗によって周辺の資産価値が向上していると思われるが、見積もりなのか現地調査をしているのか、方法によって判定への影響が大きいとおもわれる。

A)後日の詳細説明の際に事業課より回答をさせていただきます。

#### 道路-1

Q)用地買収の遅れによって投資効果が上がっておらず、供用率が40%と低いが、H16までに完成は可能なのか。

A)現実には工事はかなり進んでいますが、現道から離れている部分は供用ができないため、供用率が低くなっています。用地買収後はトンネル工事のみであり、完成は可能と考えられます。

Q)地元の方々からの、地権者への要請はあるのか。

A)役場をはじめお願いに行っておりますが、困難な状況となっております。

Q)線形を変えて、早く完成をしたらどうか。

A)トンネルの坑口周辺であり難しいと思われれます。

Q)地権者は最初から反対だったのか。

A)最初から反対でしたが、最初から長期に渡り交渉を続けており、ご家族の方には理解を得ています。

Q)測量等は済んでいるのか。

A)完了しています。

### 3 再評価実施箇所(上下水道課所管分)の概要説明及び質疑

・説明者 小川建設評価指導室長

#### 下水道-共通

Q)下水道事業は工期が長いようだが、町村によって実施済率にばらつきがある。ペースの違いはなにか。

A)町財政が厳しいなか、早くやっただいていただいていると思われる。

Q)計画を20年程度とするのが普通なのか。本当は出来るのに長期的にしているだけなのか。

A)町村の財政力によって変わってくるため、短期間では町の財政がついていかない。

Q)武芸川町は10年程度で計画しているが、町に財源があったということか。

A)努力をされたと思われれます。

Q)当初計画の人口よりも減っている町村では、負担金が多くなるのか。

A)使用料は高くなると思われれます。

### 4 再評価実施箇所(農山村整備政策課所管分)の概要説明及び質疑

・説明者 鈴木工事検査課長

#### 農整-2

Q)活性化施設とはなんなのか、また、これが完成しないと事業完成とならないのか。

A) 集会所などが該当します、また事業完成の判断等は、後日の詳細説明の際に事業課より回答をさせていただきます。

Q) 用地の進捗率が87.5%となっているが、活性化施設の用地は確保されているのか。

A) 後日の詳細説明の際に事業課より回答をさせていただきます。

#### 農整－共通

Q) 効果の分析とは費用便益のことか。

A) そうです。

Q) 採択基準は1.0以上であればよいのか。

A) 農水省関係の事業では、1.0以上としています。

意見) 完成したあとの、維持管理や利用状況が大事であり、事後評価を行うことが重要と考えられる。

#### 5 再評価実施箇所(農地整備課所管分)の概要説明及び質疑

・説明者 小川建設評価指導室長

##### 農地－ほ場整備

Q) 用地買収が難しいようだが、反対の主な理由は何か。

A) 高鷲村の事業につきましては、他事業との経緯もあり難しい箇所もあります。南濃町の事業については、事業自体に反対されている方、あるいは相続等の関係で用地買収が進んでいないところもある。

##### 農地－9

Q) ため池事業の効果が他と比べて高くなっているが、理由は何か。

A) 被害区域を想定しており、下流の家屋の全壊、浸水等を考慮しているためである。

Q) ため池の堤体が決壊した場合を想定しているのか。

A) そうです。防災効果を含んでいるということです。

Q) ため池の水利用の状況は変わっていないのか。

A) 耕地の面積が減っていることはない。詳細については後日の事業課の詳細説明で行わさせていただきます。

##### 農地－10

Q) 水路横の道路は舗装するのか。法面等の崩壊し湖に入ってくる土砂を減らす必要があるのではないか。

A) 何らかの形で表面処理を行うと思われるが、詳細については後日の事業課の詳細説明で行わさせていただきます。

#### 6 再評価実施箇所(治山林道課所管分)の概要説明及び質疑

・説明者 鈴木工事検査課長

##### 治山－共通

Q) 投資効果の高い事業が多いが、その理由はなんですか。

A) 防災の効果が高いためと考えられます。

Q) 森林整備とは何をするのか。

A) 山地保全のために植林を行います。

Q) 植林する樹木は、どんな種類の樹木を考えているのか。

A) 山腹等の崩壊に対して効果のある樹木と考えられますが、詳しい内容につきましては、後日の詳細説明で行わさせていただきます。

意見) 上矢作町の被災状況を見てきましたが、治山は必要な事業だと思う。

##### 林道－4

Q) 本林道等を通じて関西との経済交流も考えているが、なかなか予算が付かないのか、あまり事業が進んでいない

A) 片側からしか工事ができないことと、残土処理で時間もお金もかかる状態であるためと考えられる。

##### 林道－6

Q) 進捗率が悪いが、理由は何か。

A) 県道、スーパー林道などと一体的な道路網としての整備をしており、道路幅員が8.0mとなっており、内容的にも擁壁等の構造物があるためである。詳細については、後日の事業課の詳細説明で行わさせていただきます。

意見) 林道は山の管理をするためにも、どうしても必要だ。

## 7 現地調査先の選定

公共道路改築 国道157号 日当・平野パイパス 本巢町地内  
県営かんがい排水事業 桑原地区 羽島市地内  
地域防災対策総合治山 六合地区 春日村地内

閉会の挨拶（勝野経営管理部参事）